

# 荑崎平和の会 「戦争と平和展」 市の後援を受けて開催！

— 県作成パネル「8月15日—アジアはどう見たか」 —

荑崎平和の会では、毎年8月に「つくば市ふれあいセンター」の展示室を借り、「戦争と平和展」を開催しています。一方つくば市では、2年前頃から「原爆パネル展」を開催するようになりました。荑崎平和の会会長の軽部さんは、「同じような展示をしているなら・・・」と思い、平和の会主催の「戦争と平和展」に対し、市と教育委員会に後援を依頼しました。

申請するにはつくば市指定の用紙があります。担当から話を聞き、「申請書」、「県平和委員会の規約」「荑崎平和の会が今まで行った活動の内容」「今回のパネル展のチラシ」を添え、7月上旬に市の秘書課と教育委員会に提出しました。

申請書提出の時、担当から「パネル展の内容はこれだけですね？」と聞かれ、軽部さんは「はい。そうです」と答えました。担当は「検討して返事します」と言って受け取りました。2週間後の7月中旬に秘書課から「市の後援決定」文書を郵送で受け取りました。教育委員会からはまだ返事が来ていません。

荑崎平和の会が実施する今回のテーマは、伊達代表理事が作成した「8月15日—アジアはどう見たか」のパネルです。「つくば市ふれあいセンター」で8月9日（火）～12日（金）に開催予定です。

各平和の会・平和委員会が7月～8月に開催する「戦争と平和展」。以前は「会場を借りるのも大変」でした。平和の会の努力

で、近年はほとんどが自治体庁舎や図書館、その他の公共の施設を借りています。さらに土浦市、石岡市、守谷市、阿見町などでは、市や町の後援を受けて開催しています。荑崎平和の会も新たなステップを踏み出しました。

◆全国では、掲載内容に対するクレームも出ています。慎重な対応を！

一方、全国的には、自治体側から「政治的な内容が含まれるので後援は出来ない」「このパネルは撤去してくれ」などの動きも報告されています。安保法制＝戦争法の強行採決や参議院選挙で改憲勢力が3分の2を占めたことと無関係ではないようです。

茨城県内でも県南地域から同様の話が上がっています。そんな時にはその場で口論したり、興奮した状態で議論したりせず、「クレームはどこから出たのか」「誰が言っているのか」「通告するに至った経過」「どの部分がどうして問題になるのか」などを担当者から慎重にしかも十分聞き取ることが重要です。反撃はそれからでも遅くありません。

・事実関係を十分に確認してから行動に移すことが大切！

また電話等であった場合はその場で返事しないで、必ず相對し、できれば複数で話を聞くことが重要です。どのような場合であっても、「私たちの運動をさらに理解してもらえる状況が生まれた」と捉え、落ち着いて対応することが求められています。

共建築物に損傷が出て機能しない施設も多く見られます。

安倍政権は国民の命と財産を守ると日頃言っていますが、果たしてどのくらいの予算をこのような施設の耐震向上などに割り当てて来たのでしょうか。軍力だけが国民を守るわけではないし、自然災害はこの日本では絶対に避けられないものです。自分の関心がある防衛問題、武器輸出しか考えていないこの政権は、考えを変えて必ずやって来る災害にこそ真剣に対応すべきです。

一機100億円以上もするオスプレイを買うよりももっと切実に対応すべき課題が山積されています。日本のような地震大国・火山大国で平気で原発を稼働する無神経さにあきれます。万一、何か起きたら今度こそ日本がなくなってしまうと思わない想像力不足の政治家に任せるわけにはいかないとつくづく思います。

水野一成（守谷平和の会）

## 市民と野党統一候補の共同が進んだ東京都知事選！

「野党と市民の共闘の発展」が新しい運動の波

東京都知事選は、野党統一候補でたたかった、鳥越俊太郎氏が、134万6103票（得票率20.56%）を獲得しましたが、及びませんでした。当選は小池百合子氏でした。自民・公明が推薦した増田寛也氏も当選できませんでした。

参議院選に引き続いて都知事選でも野党共闘が実現し、幅広い市民との共闘が広がったことは重要です。野党と無所属議員、また多くの市民ボランティアが都内各地で対話や宣伝に取り組みました。今後も野党と市民の共闘をいっそう発展させていく必要があります。

一方、保守分裂の知事選の最中に「週刊文春」と「週刊新潮」が、野党統一候補の鳥越氏に女性問題があるような記事を掲載するなど、異常な事態も生まれました。

当選した小池氏は「核武装もありうる」との発言など、改憲・タカ派を政治信条としています。安倍首相と組んで「緊急事態条項」の改憲策動などは許さない取り組みも重要になってきます。



歓迎！新入会員のみなさんです。  
よろしくお祈いします。

.....

- \*\* \*\* さん（土浦市）
- \*\* \*\* さん（水戸市）

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

## 平和新聞

2016年8月5日（金曜日）  
2116号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 754  
2016.8/5  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

## 《守谷平和の会ニュースより抜粋》

守谷平和の会は、齊藤哲会長が「守谷平和の会ニュース」を発行しています。毎月2～3回発行し文字はすべて手書きで現在245号。事務局に毎月送られてきます。

6月分は「県平和委員会定期大会」、「核兵器廃絶を願う平和行進」等が特集されています。掲載されている記事を転載します。



## 熊本地震と政権の対応について

4月発生した熊本地震では宇土市の市役所が損壊して使用不能になりました。いざという時に防災・救援の中核となるべき公

## 2016年度 第1回常任理事会は1泊2日で懇親会も！

# 非核平和都市宣言にふさわしい平和への取り組みを、自治体と腹を割って話し合い、要求する初年度にしよう！

大会後初めての第1回常任理事会が、7月18日（月）～19日（火）に美和・小川平和委員会の協力を受け、常陸大宮市高部の花立公園において、1泊2日で開催しました。協議は参議院選挙の取り組み交流等を情勢討議の入り口にして、（1）2000万署名と参議院選挙の取り組み交流と総括。（2）「戦争と平和」パネル展、「原水禁世界大会」など、7月～9月の取り組みの確認。（3）組織体制の確認、執行・話し合い体制の交流を協議しました。

19日は明治5（1872）年11月に起きた「小瀬一揆」研究の第一人者である小林茂氏による講演と一揆に関する史跡を見学し午前中に解散。理事会の司会は伊達郷衛門さん、懇親会の司会は海老沢 文範さんでした

## ◆ 平和行進とヒバクシャ国際署名

### ～ 地域では目標を立てて取り組もう！

茨城県の2016年平和行進は、6月30日（木）北茨城から開始、7月13日（水）鹿行地域の5市を訪問したあと、香取市で千葉県側に引き渡されました。各地の平和の会・平和委員会は、結成された行進実行委員会の中心になって積極的にとりくみました。全国通し行進者は木伏研一氏、県内通し行進者は県原水協会会長である加藤岑生氏でした。

またヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える、日本被団協の「核兵器廃絶国際署名」を推進するため、広島市の被爆者7団体「広島の呼びかけ人」に名前を連ねて協力すると発表しました。「代表者名と団体名を載せれば幅広い方々がより身近に署名に応じてもらえるのではないか」「被爆者の平均年齢は80歳を超え、なかなか行動できないが、世界の動きは激しくなり、じっとしてはいられない気持ちだ。広島で被爆者が旗を振り、署名運動を大きく広げていきたい」と語っています。

この核兵器廃絶署名は、次回2020年の再検討会議までに世界で5億筆、日本では人口過半数を実現するとしています。平和委員会も積極的に取り組むことが必要です。

## ◆ 仲間づくり 一新会員の迎え入れを、退会会員を上回る数にしよう！

県平和委員会は、ここ数年間、「全体で毎月5人以上の新会員を



迎える」取り組みを提起しています。年間では60人以上になりますが会員の努力でおおむね実現しています。

一方退会する会員もいます。会員の年齢構成が高いこともあり、亡くなる方、施設に入る方、子どもに引き取られるなどの理由です。また「身の整理をする」「目が悪く新聞が読めない」など、会員の高齢化による退会も増えています。

全体の退会が年間に40～50人います。ですから年間50～60人の新しい会員を迎えても「現状維持」にとどまり、会員数の大幅な増加に至りません。各平和の会・平和委員会が仲間づくりの目標を立てて、とりくみを進める必要があります。そのために

- (ア) 定例会議を開催し、互いに顔を見せ合った話し合い（総会・役員会・集会等）のできる態勢をつくる。
- (イ) 定例会議のなかでは、今後の取り組みの計画、終了後の総括などを話し合う。その中に、かわら版と平和新聞の配布、会費の集金、そして仲間づくりに関する取り組みの現状と達成目標等を話し合います。
- (ウ) 平和の会・平和委員会は、「話合って取り組みとその内容を定める」ことが大切です。その中で新規会員の獲得は、具体的な名前を挙げ、「誰が」「いつ」「どのように」を決め、結果を報告し合うことを進めます。
- (エ) 「女性」、「若者」にもっともっと声を掛けることが重要です。戦争と平和パネル展や集会、学習会などの参加した方々へのお誘いは、躊躇せずに漏れなく声を掛けることが必要です。

## ◆ 7月から9月にかけての取り組みについて（抜粋）

### 【1】 仲間づくりと組織の強化

- ①各平和の会・平和委員会の活動実態の交流を図ります。
  - ・役員 ・集金 ・かわら版配布
  - ・定例会議の開催等の確認と実践
- ②平和新聞の購読拡大

③事務局と地域と連携して、自治体ごとの新組織結成を進める。

### 【2】 非核平和都市宣言にふさわしい取り組みを自治体と話し合おう

①非核平和都市宣言の趣旨を、市民にアピールする事業をさらに進める。②広島・長崎の原爆慰霊祭に市内小中学生の「平和大使派遣」を提起する。③「自衛隊適齢者名簿」を紙媒体の提出や住民基本台帳の閲覧を止めさせる。④申し入れ文書は事務局でも作成。

### 【3】 「ピースエッグ おおさか 2016 ミライ×キッカケ」に若者を派遣しよう

- ・9月17日（土）・18：00～19日（月）（3日間）
- ・大阪市和泉市 信太山野外活動センター（全日程参加費：8000円）
- ・複数の若者代表を送り出すため、カンパ等の協力を！

### 【4】 平和大会・in 青森 「10月22日（土）～23日（日）」に各地から代表を！

・事務局は若者を中心とした実行委員会を結成してとりくむ。

### 「原水爆禁止国民平和大行進」報告（石岡から）

## 小美玉市庁舎で島田市長・石岡市庁舎で今泉市長から歓迎の挨拶！

7月8日（金）午後2時30分に桜川市から八郷に入り、八郷支所において小松崎所長から歓迎の挨拶をいただきました。東日本通し行進者の木伏さん、県内通し行進者の加藤さんから挨拶を、地元の小松市議からも挨拶をいただきました。

午後3時30分に、小美玉市庁舎で島田市長からの歓迎挨拶、ペナントの装着を受け、午後4時15分に石岡市庁舎に到着。初めて、市のトップである今泉市長から歓迎の挨拶を受けました。

今泉市長は挨拶の中で、「今年は広島の平和記念式典に市内各中学校から2名ずつ参加する。平和の大切さを全生徒が共有することにしたい」との話がありました。

9日（土）はあいにくの雨でした。参加者は雨・風に負けず元気に千代田庁舎、さらに土浦亀城公園まで行進しました。強健者はさらに荒川沖駅まで行進しました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。

【石岡平和の会・山口由夫】